



特命チームでのとりまとめを、菅総理とともに協議

大島九州男参議院議員も特命チームの一員に任命され「HTLV-1 総合対策」を取りまとめました。

総合対策としては今後、厚生労働省に専門の対策推進協議会を設置することやHTLV-1の研究費として、従来の5倍の10億円の予算を充てることなど、予防からカウンセリング、医療体制、情報提供、研究開発にわたる総合的な対策が盛り込まれました。また、この取り組みに基づいて、国は地方公共団体、医療機関、患者団体等と密接な連携を図りつつ「HTLV-1 総合対策」を強力に推進していきます。

大島九州男参議院議員も、問題解決に強力に取り組んでいくため強い決心をしました。

命を守る HTLV-1特命チーム総合対策を取りまとめ

HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型)の感染者は約100万人以上と推定されており、ALT (成人T細胞白血病)やHAM (HTLV-1 関連脊髄症)といった重篤な疾病を発症しますが、これらの疾病の有効な治療法は未だ確立されていません。まず、このウイルスによる感染を可能な限り減らし、将来の発症者を減少させるため、新たな感染を予防する対策を速やかに実施する必要があります。

このような状況を踏まえ、内閣総理大臣の指示により、「HTLV-1 特命チーム」を設け、官邸・政治主導のもと、患者・専門家を交えた検討を行いました。

<HTLV-1総合対策>

重点施策

1.感染予防対策

- 全国的な妊婦のHTLV-1抗体検査と保健指導の実施体制の整備
- 保健所におけるHTLV-1抗体検査と相談指導の実施体制の整備

2.相談支援(カウンセリング)

- HTLV-1キャリアやALT・HAM患者に対する相談体制の整備

3.医療体制の整備

- 検査精度の向上や発症リスクの解明に向け、標準的なHTLV-1ウイルスのPCR検査方法などの研究の推進
- ALT治療に係る医療連携体制等の整備、地域の中核的医療機関を中心としたHAMの診療体制に関する情報提供
- ALT及びHAMの治療法の開発・研究の推進、診療ガイドラインの策定・普及

4.研究開発の推進

- 実態把握、病態解明、診断・治療等の研究を総合的・戦略的に推進
- HTLV-1関連疾患研究領域を設け、研究費を大幅に拡充

●通常国会1月24日開会

2011年1月召集の通常国会は、民主党が政権与党となり、初めて一から作成した予算審議から始まります。

今回の予算は「**元気な日本復活予算**」と位置づけ、政府は以下の5つのポイントを挙げ閉塞感を突破する予算編成にあたりました。

●メリハリ/従来型の配分を大胆に組み替えます

- 拡 充…社会保障5%増
科学研究費補助金3割増
- 重 点 化…特別枠で「成長と雇用」に重点化
- 見 直 し…公共事業を実質5%削減
- 税制措置…法人減税、雇用促進税制新設

●ムダ削減/事業仕分けの成果が現れます

一般会計に加え、独法や特別会計の仕分けを実施し、無駄を徹底的に排除

●地域主権/お金の使い方を、地域で決めます

ひも付き補助金を廃止し、一括交付金化

●特命チーム主導/縦割りを超えて推進します

新卒者雇用。待機児ゼロ。HTLV-1対策。硫黄島遺骨帰還で長年の先送りを打破

●財政規律/しっかり堅持します

歳出の大枠約71兆円、国債発行額約44兆円を堅持

2011年始動!

地域での活動

大島九州男参議院議員の年頭は、地域の消防出初め式、成人式、商工会議所などの賀詞交歓会などに多く出席をさせて頂き、新年を祝うとともに皆さまの声を直接お伺いする事が出来ました。

特に、大島九州男参議院議員は「**民主党中小企業政策推進議員連盟**」の事務局次長を務めさせて頂いており、日本経済の基盤を支え、地域経済と雇用の柱を支える中小企業を活性化することは、経済発展に不可欠な重大な要素です。皆さまの声を通して、地域経済の活性化のための政策提言を行えるよう活動を進めています。



福岡県直方市成人式で新成人にメッセージを贈る

統一地方選挙に向けて

今春、全国各地で地方選挙が行われます。大島九州男参議院議員は、出身地の福岡県内をはじめ全国各地の仲間が、しっかりと戦いができるように、キチンと政策を国民に訴え、仲間全員が勝利するために、全国各地で、カー杯応援を展開しています。



商工会議所の賀詞交歓会にて鏡開き

